

平成26年度第2回大分県行財政改革推進委員会 知事あいさつ要旨

皆様方には大変お忙しいところ、お集まりをいただきまして誠にありがとうございました。私どもにとっていちばん重要な、いちばん緊張する、行財政改革推進委員会でございまして、今日もまた、一つ、厳しいご指摘をいただきたいというふうに思っているところであります。

皆様のご指導をいただきまして、平成25年度の決算がまとまりました。

25年度は、一つは、九州北部豪雨災害からの復旧、復興という事業がありました。加えて景気対策ということで、公共事業をやろうとか、商業・サービスの振興を図ろうとかいろんな事業を積極的にやって、景気の振興をやったというようなことで、どちらかと言うと、財政の方は積極財政ということになっております。

一方で、一つは景気が上向いてきたということがありまして、税収がだいぶ増えたということ。それからもう一つは、日頃から皆さんに鍛えていただいております行財政改革実践力と言いますか、現場での行財政改革の成果も上がってきたということでございまして、実質の収支というのが、だいぶ黒字でございまして、しかも、黒字幅も大変拡大をしたところでございまして、単年度の黒字、たいへん状況がよくなったというふうに考えております。

財政調整用基金、いざという時の預金でございまして、こっちは、財政規模の5%ぐらいということで、300億円ぐらいはなきゃいけないなど、こういうことを行財政改革委員会でご説明させていただいております。おかげさまで400億円を上回るという数字を確保しています。

そのまま借金で返したんじゃないかと、こう言われていますけれども、こっちの方も、県債の残高の方も着実に減少ということでございまして、本当におかげさまで、25年度の決算は、たいへん良かったのじゃないかなと、こう思っているところでございまして、感謝を込めてご報告をさせていただく次第でございまして。

今日は二点、お話をお願いしております、一つは、指定管理者の評価結果についてということで、指定管理者の評価部会というのをつくっていただいて、

それぞれの部会から厳しいご審査及び評価をいただいたわけでございますけども、そのことについてご報告をさせていただき、また、私どもの対応も併せてご報告をさせていただくというのが一つ。

それからもう一つは、公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進。つまり、アセットマネジメントをしっかりとやって、公共施設の長寿命化、管理費用の平準化を図っていこうというようなことで、かねてからこういうご指摘をいただいている点でございますけども、これの進捗状況についてご説明というようなことでございます。

いずれもたいへん県の財政にも、将来に関わる重要事項でございますので、どうぞよろしくご審議の程をお願い申し上げます。